

大人も子どももライフプランの視点を
～ママFPのひとりごと⑩～

ファイナンシャルプランナー 鈴木さや子

ライフプランとは「生涯設計」のことです。日頃セミナーなどで、「子どももライフプランについて考えましょう」とお話すると、「え、そんなのまだ早いんじゃない？」という声が聞こえてきます。でもご存知でしょうか？あのゴルフの石川遼選手も大リーガーのイチロー選手も、小学6年生の頃に「〇〇歳には××試合で優勝」といった立派なライフプランをたてていて、今の活躍があることを。今月は、大人も子どもも考えたい「ライフプラン」の視点について取り上げます。

1. ライフプランとは

「こんな夢をかなえたい」「この目標を達成したい」漠然とそう思っている、自分の心と向き合っ
て書き出すといった機会は、なかなか持てないものです。そして、かなえたい夢や目標、イベントに
はお金が必要になることも多く、計画を立てないでい
ると必要なお金が用意できずに、夢・イベント自体を
あきらめたり延期したりすることにもなりかねませ
ん。たとえば、子どもの進学も大きなイベント。「何
年後にいくらかかるから、こうやって準備しよう。」
と、マネープランをたてて実行するためにもライフプ
ランをたてることはとても重要なのです。

実現したい 夢・イベント	誰のため？	世帯主が 何歳の時？	優先度	いくらかかる？

ライフプランをたてるメリットは以下の通りです。

- いづごろ、どんな夢を実現したいのか、またどんなイベントがあるかはっきりする
- 何年後にいくらか必要なのかイメージすることで、お金の対策が早めにたてられる。そして「足りないかも知れない…」といったような漠然とした不安も解消する
- 自分の心と向き合いイメージし、書き出すことで、夢などを忘れない

ぜひ上表を参考に、書き出してみてください。

ライフプランをたてたら、時系列に家族の年齢や夢、
イベント、そしてそれらにかかるお金を書き込んで
表にしてみましょう。できあがった表は家族で共有
し、時々見直すことが大切です。

(右表：ライフプラン表の例)

何年後	現在	1年後	2年後	3年後	4年後	5年後	6年後	7年後	8年後	9年後	10年後	11年後
年齢	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
世帯主	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年	平成33年	平成34年
家族	イベント											
	予定金額											
夫	年齢	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳
	イベント											
	予定金額											
配偶者	年齢	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳
	イベント											
	予定金額											
子	年齢	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳
	イベント											
	予定金額											
子	年齢	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳
	イベント											
	予定金額											

—コラムの無断転写・転載などを禁じます。—

2. 子どもにとってのライフプランの視点

それでは子どもにとってライフプランには、どんな意味があるのでしょうか。子どもがライフプランを考えるメリットは以下のとおりと考えます。

- 将来どんな仕事をしたいか考えることで、世の中の様々な職業に興味を持つ
- 夢や目標をたてることで、どうしたら叶えられるか自分の頭で真剣に考える
- 夢や目標を達成するためのプロセスの中で、目の前の勉強や遊びの意味を知る
- 自分がやりたいことにどのようなお金がかかるか興味を持つ

子どもにいきなり「ライフプランをたてろ」というのは酷な話です。大人でもライフプランを書き出す作業はとて大変なもの。ましてや子どもたちにとって「将来何になりたいか」「どんな夢があるか」と訊かれても、答えられないことが多いものです。

そこで、答えられない子どもには、今の「楽しいこと」「大好きなこと」「好きな科目」などをあげさせて、そのことに関係する職業を考えていく方法がいいでしょう。将来の目標が決まっている子どもであれば、どうすれば目標を達成できるかを考えさせたいですね。そして、職業だけでなく、自分が大人になった時の「家」「家族」「生活環境」「性格」なども一緒にイメージして、文章や絵を書いたり、雑誌から写真を切り抜いて貼ったりすると、この世に一つの立派なライフプランシートができます。

<子どもにライフプランを考えさせる時の質問例>

- ・ どんな家に住んでいる？ ・ どのようなお仕事をしている？ ・ どのような服装をしている？
- ・ どんな家族構成？ ・ これからどんなことを頑張る？ ・ 目標達成のためにお金はどう使う？

そしてライフプランシートは、時々見直させましょう。子どものなりたい職業や夢は、クルクル変わるのが定番。毎日新しい刺激を沢山受けて、感性に響いているのですから、変わって当たり前なのです。職業や夢が変わったら、また新しいライフプランシートを作りましょう。そして、ぜひ沢山の夢を描いて、将来への視点を向けさせてあげてくださいね。

子どもたちが小さい頃から、大人になった姿をイメージし、どんな仕事がしたいか、どんな生活がしたいか考えることは、今やるべき勉強や遊びをさらに充実させ、長期的な視点を持てる子に育つ良い機会となるでしょう。親子でコミュニケーションをとりながら、ぜひお話してみてくださいね。

先日行った子どものためのワークショップで、子どもたちは自由に将来への夢をライフプランシートに思い描いていました。スイスイと鉛筆が進む子もいれば、全く進まず悩んでしまう子も。4年生の男の子が「プログラマー」としっかり書いている横で、私の次女はなんと「タケウマの先生」。子どもの感性はとても面白いですね。

《今月のお気に入り曲》

交響曲第9番（合唱付き）
／ベートーヴェン作曲
日本では年末になるとあちこちで演奏される曲。有名な「歓喜の歌」は4楽章の旋律です。
1時間超とベートーヴェンの交響曲の中では最長の曲です。

—コラムの無断転写・転載などを禁じます。—

Copyright©2013 Skirr Japan Corporation. All Rights Reserved.